

庶務概要（平成24年度）

1 水産総合研究所の沿革と組織

（1）位 置

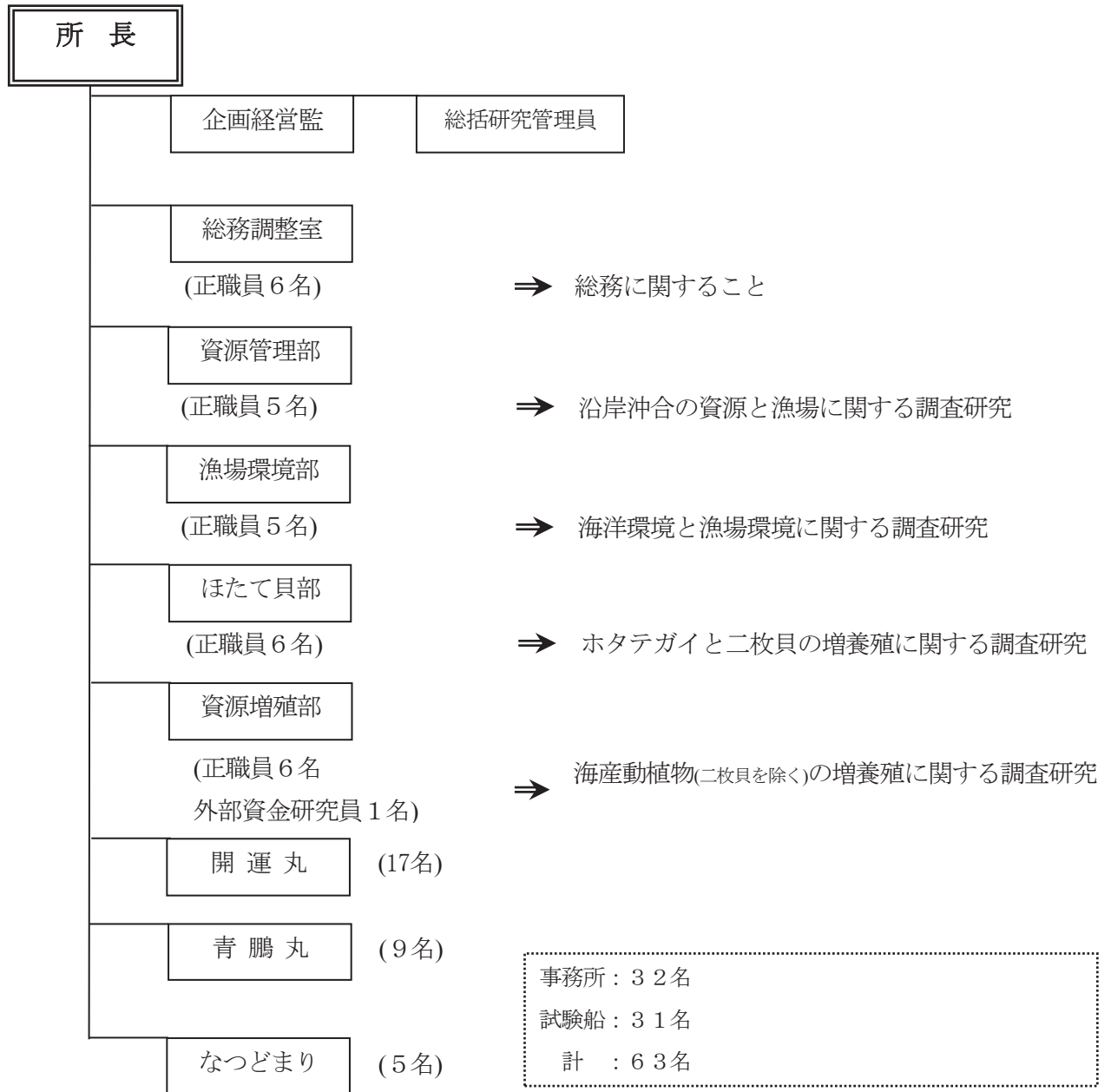
東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

(〒039-3381 TEL 017-755-2155 FAX 017-755-2156)

（2）沿 革

明治33年2月	青森県水産試験場設置認可（農商務大臣）
明治33年4月	青森市大字大野字長島青森県庁構内に設置し事務開始
明治34年	相坂鮭鱒人工ふ化場を上北郡藤坂村に設置
大正13年	本場を八戸市湊町に移転
昭和23年	黒石養魚場を南津軽郡中郷村に設置
昭和23年	本場を西津軽郡鱒ヶ沢町に移転、庁舎新築
昭和24年	陸奥湾分場をむつ市に設置
昭和25年	黒石養魚場を黒石市大字石名坂に移転
昭和27年	陸奥湾分場が陸奥湾水産増殖研究所と改称され独立機関となる
昭和43年	水産増殖研究所を平内町茂浦に移転し、水産増殖センターと改称する
昭和51年3月	鱒ヶ沢町大和田に水産試験場新庁舎を竣工
昭和56年4月	十和田市に青森県内水面水産試験場を設置する（相坂、黒石両養魚場及び内水面関係業務を移管）
昭和58年2月	青森県水産試験場漁業研修センター竣工
平成5年	水産増殖センター新庁舎竣工
平成12年4月	水産試験場創立100年
平成13年3月	八戸市ポートアイランドに漁具倉庫新築
平成15年4月	試験研究機関の統合により青森県水産総合研究センターと改称され、下部機関として増養殖研究所、内水面研究所が配置となる
平成18年4月	水産総合研究センター庁舎を鱒ヶ沢町舞戸町に移転
平成21年4月	青森県水産総合研究センターと増養殖研究所を統合し、地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所となり、庁舎を平内町へ移転

(3) 機 構 (平成 24 年度)



(4) 施 設

① 土 地	20,971.30m ²		
② 建 物	5,461.74m ²		
・管理研究棟	鉄筋コンクリート造	1部2階建	1,735m ²
・実験機械棟	鉄骨造	平屋建	1,122m ²
・飼育実験棟	〃	〃	1,563m ²
・研修宿泊棟	木造	2階建	271m ²
・作業棟	〃	平屋建	324m ²
・取水ろ過棟	鉄筋コンクリート造		103m ²
・倉庫棟	木造	平屋建	108m ²
・発電機棟	鉄筋コンクリート造	〃	59m ²
・車庫棟	鉄骨造	〃	74m ²
・油庫棟	〃	〃	8m ²
・その他			95m ²
③ 主 な 施 設			
・海水取水ポンプ	7.5KW	3台	
・逆洗ポンプ	18.5KW	1台	
・ろ過槽(重力式)	80トン/時	3基	
・ろ過貯水タンク	120トン	1基	
・屋外コンクリート水槽	12トン:6面、10トン:8面		
・親魚棟コンクリート水槽	30トン:1面、20トン:1面、10トン:4面		
・屋内FRP水槽	30トン:2面、10トン:2面、5トン:3面		
・ブローワー	3.7KW:2台、5.5KW:1台		
・発電機	500KVA	1台	
・海水温度制御装置(アクアトロン)	温海水 5系統 35トン/時 冷海水 4系統 6トン/時		
・海況自動観測装置(ブイロボット)	3基		
④ 試 験 船			
・開 運 丸	206トン	ディーゼル	1,400PS(鉄鋼船)
・青 鵬 丸	65トン	ディーゼル	1,000PS(〃)
・なつどまり	24トン	ディーゼル	770PS(FRP船)
⑤ 実 習 船			
みどり	4.2トン	ディーゼル	50PS(FRP船)
二十一海洋	2.8トン	船外機(2サイクル)	110KW(FRP船)

2 職員名簿

部 署	職 名	氏 名	部 署	職 名	氏 名
	所 長 企画経営監 総括研究管理員	天野勝三 上原子次男 野呂恭成	開運丸	船 長 機関長 通信長 一等機関士 二等航海士 二等航海士 二等航海士 二等機関士 二等機関士 二等機関士 甲板長 甲板員 甲板員 甲板員 機関員 機関員 機関員 厨房員	成田企重郎 田中 実 小清水寛 佐藤孝廣 若崎忠彦 須藤 覚 石井達也 中村義美 逢坂健幸 小平泰史 本堂洋一 金屋富明 金澤俊介 伊藤和弘 高屋敷一成 磯沼純一 加福文二
総務調整室	室 長 主 査 主 査 主 査 技術専門員 技能技師	松山英春 飯田ひとみ 木村博行 山田雅治 荒田 茂 上村 健		船 長 機関長 一等航海士 二等機関士 二等機関士 二等機関士 甲板員 甲板員 甲板員 機関員 機関員 厨房員	吉田竹広 安田 勝 北嶋栄一 佐藤正樹 多田繕伸 肴倉厚雄 今泉健介 横田広平 阪崎 勝
資源管理部	部 長 研究管理員 主任研究員 研究員 研究専門員	伊藤欣吾 柳谷 智 今村 豊 三浦太智 永峰文洋		船 長 機関長 一等航海士 二等機関士 二等機関士 甲板員 機関員 厨房員	佐藤隆文 相野幹夫 佐藤博之 高木広美 星野元紀
漁場環境部	部 長 主任研究員 主任研究員 研究員 研究員	蛭名政仁 清藤真樹 高坂祐樹 小泉広明 扇田いずみ		なつどまり	事務所：32名 試験船：31名 計：63名
ほたて貝部	部 長 総括研究管理員 技 師 研究員 研究員 技術専門員	吉田 達 伊藤良博 小笠原大郎 東野敏及 小谷健二 川村 要			
資源増殖部	部 長 研究管理員 研究管理員 研究員 研究員 技能技師 外部資金研究員	菊谷尚久 高橋進吾 藤川義一 鈴木 亮 野呂英樹 尾鷲政幸 橋詰翔太郎			

3 歳出予算執行状況(1)

(単位:千円)

事業種目	事業内容	決算額
法人管理運営費支出		4,443
管理運営費支出		4,443
法人調整費支出	法人全体の調整(各種委員会費等)	348
施設整備費支出	研究機器・設備の整備等	4,095
本部助成金支出		60
本部助成金支出		60
科学研究費間接経費支出	科学研究費にかかる間接経費	60
法人管理運営費支出(繰越金支出)		36,415
管理運営費支出		36,415
繰)法人調整費支出	法人全体の調整(試験船及び研究機器の維持修繕)	32,099
繰)法人調整費(研究)支出	法人全体の調整(試験船及び研究機器の維持修繕)	4,316
弘前研業務費支出		170
生命科学研究費支出		170
耐塩性微生物の収集と利用に関する研究事業費支出	水産発酵食品等から耐塩性微生物を採取し、本県微生物資源のデータベース化	170
水総研管理費支出		160,784
管理費支出		160,784
一般管理費支出	管理運営費	35,623
試験船警備費支出	試験船「開運丸」「青鵬丸」の巡回警備業務委託料	2,596
運航管理費支出	試験船「開運丸」「青鵬丸」の運航管理費	30,321
上架修理費支出	試験船「開運丸」「青鵬丸」の維持修繕費	28,921
船舶保険料支出	試験船「開運丸」「青鵬丸」「なつどまり」及び実習船「みどり」の漁船保険料	6,663
なつどまり運航管理費支出	試験船「なつどまり」の運航管理費	16,273
アクアトロン施設運営費支出	アクアトロン設備保守運営管理	18,642
実習船管理費支出	実習船「みどり」の運航管理費	725
陸奥湾海況自動観測システム管理費支出	陸奥湾海況自動観測システム運営費	13,109
非常勤職員等経費支出	非常勤労務員の賃金等	7,911

3 歳出予算執行状況(2)

(単位:千円)

事業種目	事業内容	決算額
水総研業務費支出		23,803
資源管理部費支出		2,215
ヤナギムシガレイの資源生態調査と管理手法開発事業費支出	ヤナギムシガレイの資源管理手法の開発	428
ハタハタ漁況予測の手法開発事業費支出	ハタハタ漁況予測手法の開発	1,117
重要魚類モニタリング調査事業費支出	底魚類の資源評価のための基本情報のモニタリング	670
漁場環境部費支出		601
イカ類漁海況情報収集・提供事業費支出	スルメイカの漁期前調査及び漁期中の回遊状況等の情報提供	290
陸奥湾海況情報提供事業費支出	海況情報データ提供及び情報交換	311
ほたて貝部費支出		1,496
陸奥湾の海洋環境とホタテガイの成長に関する研究事業費支出	陸奥湾の海洋環境とホタテガイの成長との関係を解明	400
ホタテガイ増養殖安定化推進事業費支出	天然採苗予報調査、養殖実態調査	1,096
資源増殖部費支出		721
低コストなウスメバル種苗の生産技術の開発研究事業費支出	低コストで大量のウスメバル放流種苗を生産する技術の開発	721
研究費交付金事業費支出		18,770
ほたてがい高水温被害回避対策事業費支出	高水温によるホタテガイの大量へい死を回避するためのモニタリング	2,680
資源管理に必要な情報提供事業費支出	日本海、太平洋、津軽海峡の海況情報提供	648
中型いか釣り漁業緊急支援事業費支出	スルメイカ漁場の調査による中型いか釣り漁業者への情報提供	3,546
栽培技術開発事業費支出	栽培漁業の推進のための放流技術開発試験	780
陸奥湾なまこ産業ステップアップ事業費支出	ナマコの高温に対する影響の解明と畜養技術の開発	6,430
震災後の磯根資源復活事業費支出	磯根資源復活のための空ウニ輸送試験	210
海面養殖業高度化事業費支出	ホタテガイのへい死原因解明	769
陸奥湾養殖業ステップアップ事業費支出	マボヤ種苗安定供給技術開発及び下痢性貝毒の簡易検査法の実用化研究	3,707
水総研受託研究費支出		100,386
水総研受託研究費支出		100,386
漁業公害調査指導事業費支出	陸奥湾の漁場環境保全のための監視調査	391
温排水モニタリング調査事業費支出	東通原子力発電所の温排水による影響調査	2,855

3 歳出予算執行状況(3)

(単位:千円)

事業種目	事業内容	決算額
EU向け輸出ほたて安全対策事業費支出	対EU輸出ホタテガイ生産海域における毒素産生性プランクトン検査	502
貝毒プランクトンモニタリング調査事業費支出	国内向け二枚貝の貝毒及び貝毒原因プランクトンのモニタリング	2,825
陸奥湾のほたてがいを守りなまこと魚を増やす調査事業費支出	漁場環境改善効果調査及び水産増殖効果調査	9,900
長後地区広域漁場整備事業増殖場効果調査委託事業費支出	ウスメバルの蛸集状況調査	2,337
第2鱒ヶ沢地区広域漁場整備事業効果調査委託事業費支出	ホンダワラ育成状況及びハタハタ産卵状況の調査	3,730
第2岩崎地区広域漁場整備事業効果調査委託事業費支出	ホンダワラ生育状況調査及びハタハタ産卵状況調査	3,834
資源評価調査委託事業費支出	本県周辺海域で利用可能な魚種の資源量を評価するための関係資料整備	15,744
資源管理基礎調査委託事業費支出	県資源管理指針等に基づき、適切な資源管理推進のための調査	8,119
あかいか資源調査事業費支出	太平洋沖合のアカイカ資源の動向及び漁場形成要因解析のための調査	11,043
日本周辺国際魚類調査事業費支出	本県におけるマグロ類とサメ類の漁獲状況調査	980
大型クラゲ出現調査及び情報提供委託事業費支出	大型クラゲ出現調査及び情報提供	1,430
大型クラゲ精密分布一斉調査事業費支出	大型クラゲ精密分布一斉調査	273
気候変動に伴う水産資源・海況変動予測技術の革新と実用化研究費支	気候変動に伴う水産資源環境の動態を診断・予測するモデルの開発	6,343
猛暑時のホタテガイへい死率を低減する養殖生産技術の開発事業費支出	水温予測技術及び養殖生産技術の開発	21,900
車力マコガレイ種苗作出試験事業費支出	種苗放流のためマコガレイの種苗生産試験	350
下北地区広域漁場整備事業生物調査業務委託事業費支出	下北地区の震災後の磯根資源状況調査	1,341
藻場礁経過観察等調査業務費支出	水産資源増殖場の造成手法検討のための調査	5,329
野辺地マコガレイ種苗作出試験事業費支出	種苗放流のためマコガレイの種苗生産試験	350
地域環境知形成による新たなコモンズの創生と持続可能な管理事業費支出	ナマコ資源管理に関する地域環境知の収集	810
水総研受託事業費支出		1,133
水総研受託事業費支出		1,133
新規漁業就業者対策事業費支出	漁業の基礎的知識、技術を身につけるための賓陽塾の運営	1,133
水総研補助金支出		38,069
水総研補助金支出		38,069
被害漁場環境調査事業費支出	震災後の藻場干潟の実態調査及び磯根資源や底質状況の調査	38,069
内水研業務費支出		102

3 歳出予算執行状況(4)

(単位:千円)

事業種目	事業内容	決算額
生産管理部費支出		102
海産魚類防疫巡回指導事業費支出	海面増養殖場の魚病診断、防疫指導	102
H23繰越-法人管理運営費支出		533
H23繰越-本部受託研究費支出		533
H23繰越-三井物産環境基金助成研究費支出	早熟系マコンブ種苗の開発及び高収量養殖手法の確立	533
弘前研科学研究費支出		100
弘前研科学研究費支出		100
稚魚を対象とした高精度マイクロインジェクションシステムの開発	稚魚を対象とした高精度マイクロインジェクションシステムの開発	100
水総研科学研究費支出		100
水総研科学研究費支出		100
ミズダコの行動特性を利用した持続型タコ籠漁業の創成	タコ籠漁実態調査と籠内のミズダコ捕食・被食関係の解明	100
合計		366,098

※職員人件費については産業技術センター本部予算で一括計上

※他の研究所から配分替えを受けて執行した事業費を含む

※配分替えにより他の研究所で執行した事業費を除く

4 調査、研究報告及び資料・情報等の発行

(1) 公刊した報告書等

報告書名	発行年月	備考
平成23年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告	平成25年2月	
平成23年度地方独立行政法人青森県産業技術センター水産部門事業概要年報	平成24年4月	
平成23年度海洋観測結果表	平成24年7月	
漁海況予報関係事業結果報告書（青森県資源管理基礎調査） 平成23年度	平成24年2月	
平成24年度青森県資源管理基礎調査・浅海定線調査結果報告書	平成25年2月	
イカ類漁場開発調査資料及び外洋性イカに関する基礎資料集	平成24年8月	
未来につなぐ資源管理2013	平成25年3月	青森県と共同発行

(2) 提供情報

情報名	期間及び回数
ウオダス漁海況速報 No. 1766～1801-2	平成24年4月～平成25年3月（71回）
ホタテガイ採苗速報 No. 544～563	平成24年4月～平成25年3月（20回）
同上（東奥日報紙）	同上
ホタテガイ養殖管理情報	平成24年6月～平成24年12月（8回）
同上（東奥日報紙）	同上
ユウレイボヤラーバ情報	平成24年10月～平成24年11月（4回）
貝毒情報	平成24年4月～平成25年3月（34回）
陸奥湾海況情報 No. 875～925	平成24年4月～平成25年3月（51回）
陸奥湾の水温（東奥日報紙）	平成24年4月～平成25年3月（毎日）
ヒラメ稚魚分布密度調査結果	平成24年9月（2回）
平成24年漁期（平成24年12月～）のハタハタ漁の見通し	平成24年12月（1回）
ヤリイカ冬季来遊群の平成24年漁期の漁況予測結果	平成24年12月（1回）

(3) 青森県水産研究情報 水と漁

発行番号	発行年月日
第10号	平成24年7月
第11号	平成24年11月
第12号	平成25年2月

(4) 学会誌発表論文、学会発表

(4) -1 学会誌発表論文

- 野呂恭成・桜井泰憲（2012）津軽海峡周辺海域におけるミズダコの移動と分布および成長．水産増殖．60(4)，429-443.
- 今村央・小谷健二（2013）ワニギス亜目の系統類縁関係に関する総説．Ichthyological Research(日本魚類学会英文誌), 60(1), 1-15.
- 三浦太智（2012）マダラ陸奥湾産卵群のデータロガー標識放流結果．東北底魚研究, 32, 2-6.
- Yoshioki OOZEKI, Fuxiang HU, Chiaki TOMATSU, Hideki NORO, Hiroshi KUBOTA, Hiroya SUGISAKI, Chiyuki SASSA, Akinori TAKASUKA and Tadashi TOKAI. New autonomous multiple codend opening/closing control system for a frame trawl (Methods in Oceanography3-4 (2012) 14-24) ,

(4) -2 学会発表

- 1) 邵花梅・盛田祐加・園木詩織・藤川義一・四ツ倉典滋・仲岡雅裕・宮下和士：小型計量魚探の開発④コンブ林の磯焼けの動態把握に向けて．平成 24 年度日本水産学会秋季大会，水産大学校，下関，平成 24 年 9 月 14 日－17 日（2012）
- 2) 内田圭一・平川直人・野呂英樹・東海正・秋山清二・宮本佳則・荒川久幸・武田誠一：簡易型再度スキャンソナーを用いた磯根漁場調査．日本海洋工学会・日本船舶海洋工学会 平成 24 年度海洋工学シンポジウム，日本大学駿河台キャンパス，東京，平成 24 年 8 月 2 日-3 日（2012）

(4) -3 その他の外部雑誌

- 1) 野呂恭成（2013）漁業者が取り組む標識放流と広域資源管理－津軽海峡ミズダコの持続的利用に貢献－．豊かな海， 29， 45－49.
- 2) 野呂英樹（2012）青森県のなまこ漁業と研究の現状について ～ホタテガイ貝殻を利用したナマコ資源増大に向けて～．機関誌「漁港」， 54（4）， 27-28.